

2006年2月14日

報道関係者各位

株式会社アパマンショップネットワーク

アパマンショップネットワーク

住居系不動産を対象とした新規ファンド「ASD レジデンシャルツアー(仮)」を組成

～昨年11月に組成・運用を開始した「ASD レジデンシャルワン」第2弾～

不動産における総合サービスを提供している株式会社アパマンショップネットワーク(東京都中央区 代表取締役社長:大村浩次)は、2006年2月下旬より住居系不動産を対象とした新規ファンド「ASD レジデンシャルツアー」(仮称)の組成・運用を開始致します。

本ファンドはアパマンショップネットワークのこれまで培ってきたフランチャイズ(FC)事業における全国ネットワーク(784店舗:2006年1月末現在)が有する、豊富な情報・システム・知識と、これまでに弊社が蓄積した不動産開発・流動化に関するノウハウを融合した商品となっております。

また、本ファンドの組成・運用を含む同社アセットマネジメント(AM)事業はアパマンショップネットワークの売上総利益58%を占めるまでに成長しており、AM事業の更なる成長によりアパマンショップネットワークグループ全体の収益拡大につなげてまいります。

同社組成・運用ファンド強み

- 全国ネットワークからの情報をもとに、投資対象物件を選定することが出来、全国に分散されたポートフォリオの構築が可能となります。
- 賃貸マーケットからの声を反映することで、顧客ニーズにあった物件の開発を行い、収益変動リスクを軽減することが可能となります。
- 同社プロパティマネジメント(PM)事業にて物件を一括管理することにより、物件のポテンシャルを最大限に引き出す、維持管理が可能となります。

今後、本ファンドと同コンセプトのファンドのシリーズ化も予定(総額300から500億円規模)しており、更なるAM事業の拡大及びアパマンショップネットワークによる総合不動産サービスの拡充に努めてまいりたいと考えております。

以上